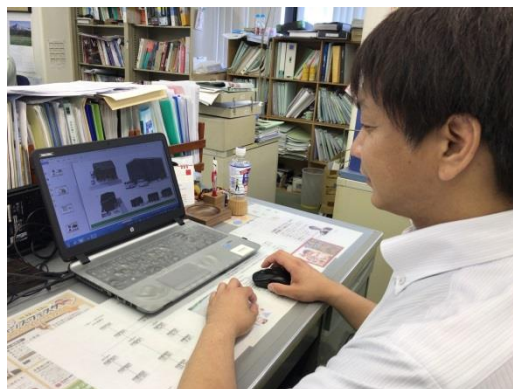


**企業実習先にそのまま就職
したため、ほぼ就職活動は
していません。
和気あいあいとアットホームな
感じで訓練を受講できました。**



平成28年6月に住宅リフォーム技術科（短期デュアルコース）を修了したK・M様（30代・男性）は、注文住宅建築請負や住宅リフォームを営まれているMホーム株式会社に就職されました。このコースは概ね1ヶ月間の企業実習を含むコースで、ご本人が希望された事業所で企業実習を受講した後、正社員として採用されました。あれから2年が経とうとしています。K・M様に、現在の仕事や職業訓練の受講についてお話を伺いました。

◇営業を1年担当した後、工事監督を予定とのことでしたね？

- はい、採用の時にいただいたお話はそうでしたが、現在、営業主任として、新築及びリフォーム住宅の営業を担当しています。

◇前職は？

- 前職は、自動販売機の商品補充の仕事をしていました。正社員でした。

◇なぜ、職業訓練を受講しよう？

- 「家は一生に一度の買い物」と言われますが、職業訓練で模擬家屋を建てると聞き、受講を決意しました。住宅設計や現場管理の職に就くことを考えて、それに必要な知識・技能を習得するためでした。

◇受講していかがでしたか？

- 受講する前は、建築や住宅に関するキャリアがなく、敷居が高いイメージがありました。知識・技能がない私たち受講者に対して、先生方がわかりやすく個々の習得状況に合わせた指導をしてくださいました。クラスのメンバーにも恵まれ、和気あいあいとアットホームな感じで訓練の受講ができました。

◇現在の仕事に役立っていることは？

- 訓練では、木造住宅の全般的な知識、建築CAD、内装等の施工方法などを習得しました。その中でも、「木造住宅の構造的な知識」は、お客様に説明するケースが多々あり、大変役立っています。「建築CAD」も、今の実務に必要であり、役立っています。

◇就職活動は？

- － 企業実習先にそのまま就職したため、ほぼ就職活動はしていません。

◇企業実習先はどのようにして？

- － 自分が就職を希望する事業所の求人票を担当の先生に提出し、先生がその事業所に話をされました。履歴書・職務経歴書を作成し、その事業所との事前面談に臨みました。

◇就職の決め手は？

- － 企業実習で約 1 ヶ月間お世話になりましたが、就職決定の決め手は“社長の人柄”につきます。

◇今後の目標は？

- － 展示場の増加や新事務所の建設など、会社を少しでも大きくすることを目標とし、自分自身も成長していきたいです。

◇就職活動中の方や職業訓練の受講を検討されている方にメッセージをお願いします。

- － 一本の軸（信念）をもとに目標を立て、訓練の受講をされた方が良いと思います。また、適度に肩の力を抜くことも大切なように感じました。

(取材後記)

久しぶりにK・Mさんとお会いしましたが、訓練中と同じくイキイキされた表情で安心しました。今後の目標を尋ねたとき、個人のことだけでなく、“会社を大きくする”との言葉を聞き、自信を持って仕事をされていると感じました。また、社長にも温かく対応いただき、就職の決め手が“社長の人柄”ということがよくわかりました。

<2018年6月>